

舞台・展示で交流を育む

宮城県松島町の温泉旅館や観光施設が建ち並ぶ地域に、町文化観光交流館があります。どんな施設なんだろう。松島一小的こども記者4人が、取材しました。

(1面に関連記事)

交流館には「アトレ・るHall」という愛称があります。(ホール)という愛称があります。スタッフの若生紀子さん(62)が「アトレは、フランス語で魅力という意味があり、魅力あるホールにという願いが込められています」と教えてくれました。

元は、1978年に町制50周年記念として建てられた中央公民館でした。東日本大震災後に大規模改修工事が行われ、生まれ変わった施設に愛称を付けようと、公募によって決まりました。

540人分の可動式の座席を備えた大ホールと研修室、調理室などがあります。昨年度は、約3万2000人が利用しました。

年間を通しての一大イベントは、毎年10月に開く交流まつりです。踊りや楽器演奏を披露する舞台の部と、住民の絵画、書道などの作品が一堂に会する展示の部があり、たくさんの方が訪れるそう。

「どんな思いで運営していますか」との質問に「また来たいと思ってもらえるように、お客さまの安全と満足度を意識しています。町外にもっと存在をPRしたいです」と話しました。

大ホールで開かれていた県高校東部地区美術展を若生さん(左)と見学することも記者



取材を終えて

名前に深い意味あった 佐藤大志さん

ハンバーガー屋さんは「日本一はたまたま」と言っていました。アトレには、名前に深い意味がありました。取材しなければ、分からないことがたくさんありました。良い経験になりました。

人に喜ばれる仕事する 林 龍志さん

二つの取材先に共通しているのは、お客さまに喜んでもらえるように頑張っていることです。他にはないメニューやイベントを考えれば、期待に胸を膨らませて来る人が増えるでしょう。ぼくも、人の役に立って喜ばれる仕事をしたいです。

道の駅作る目標すごい 木村一沙さん

名前には必ず意味があります。ハンバーガー屋さんは子どもの名前が由来で、交わるという願いも込められていました。アトレは、フランス語で魅力という意味でした。道の駅を作りたいという佐藤さんの夢がすごいと思いました。

努力して夢を持ちたい 赤間奏斗さん

ハンバーガー屋の佐藤さんも、アトレの若生さんも大きい夢や小さい夢を持ち、その夢を達成するために自分ができることを一生懸命して、夢をかなえてきたと思います。自分なりに努力して、新たな夢を持てる人になりたいです。

